

高校地理プリント（過去問類似）

資源と産業 No.8

名前

得点

/10

問1 北アメリカ大陸の中緯度内陸部に位置する温帯草原地帯において、かつて生い茂っていた草の遺骸が分解されて形成された、有機物を豊富に含む肥沃な黒色土を何というか。（2004年 全国公立入試 類似）

1. ラトソル 2. ポドソル 3. プレーリー土 4. ツンドラ土

問2 日本の高速道路網の整備に伴い、東北地方の東北自動車道沿いや九州地方などに、輸送の利便性を活かして多数立地するようになった、軽量で高付加価値な製品を生産するエレクトロニクス産業の代表的な電子部品は何か。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 工作機械 2. 太陽電池 3. 携帯電話 4. 集積回路

問3 1970年代後半以降、世界各国で沿岸から200海里の範囲に設定された。これにより、他国の沿岸近くの海域で操業していた日本の遠洋漁業は大きな打撃を受け、その漁獲量は激減することとなった。この、沿岸国の経済的な権利が及ぶ水域を何というか。（2020年 全国公立入試 類似）

1. 領海 2. 排他的経済水域 3. 接続水域 4. 公海

問4 BRICS諸国のうち、広大な農地や牧草地を背景にサトウキビやオレンジ、牛肉などの生産が盛んな南米の大国において、製造業の生産額に占める割合が他のBRICS諸国に比べて特に高い工業部門は何か。（2020年 全国公立入試 類似）

1. 食料品・飲料 2. 輸送用機械 3. 電気機械 4. 化学工業

問5 オーストラリア東部に位置する盆地では、地質構造上、掘り抜きの井戸を掘ると被圧地下水が自噴する。しかし、この地下水には塩分が多く含まれているため、農作物の栽培には適しておらず、主に羊などの家畜の飲料水として利用されている。この盆地の名称として最も適当なものを答えよ。（2006年 全国公立入試 類似）

1. 大分水嶺 2. 中央低地 3. 大鑛井盆地 4. 西部高原

問6 アメリカ合衆国のグレートプレーンズなどの半乾燥地域において、オガララ帯水層などの地下水を汲み上げ、自動回転するアームに取り付けられたスプリンクラーを用いて円形に散水する、大規模な穀物栽培などに用いられる農法を何というか。（2014年 全国公立入試 類似）

1. センターピボット灌漑 2. オアシス灌漑 3. ドリップ灌漑 4. スプリンクラー灌漑

問7 台湾における日本産リンゴの輸入時期は、北半球の収穫期を反映して11月から3月頃の冬期に集中する。これに対し、日本とは季節が逆になる南半球に位置し、5月から8月頃にかけて台湾へのリンゴ輸出のピークを迎える、太平洋に面した南米の国はどこか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. ブラジル 2. オーストラリア 3. チリ 4. アルゼンチン

問8 東北地方で冷害が発生する際、奥羽山脈の東側（太平洋側）では冷たく湿った北東風の直接的な影響で水稻の収穫量が著しく低下する。これに対し、山脈の西側（日本海側）では、湿った空気が山を越えて下降する際に乾燥・高温化するため、冷害の被害が比較的軽微に抑えられる。この山を越えた風がもたらす気象現象を何というか。（2007年 全国公立入試 類似）

1. フェーン現象 2. ヒートアイランド現象 3. エルニーニョ現象 4. ラニーニャ現象

問9 1960年代以降の発展途上国における農業技術革新において、土地生産性を向上させるために導入された、病害虫に強く多収穫が期待できる作物の種子を何というか。この種子の栽培には、灌漑設備の整備や化学肥料・農薬の多投といった多額の資本投下が必要であったため、地域間や農民間の格差を生む一因となった。（2012年 全国公立入試 類似）

1. 有機質肥料 2. 耐冷性品種 3. 耐病性品種 4. 高収量品種

問10 昭和中期以降の日本の農村において、農業機械の導入や排水効率の向上といった近代化を進めるために、不整形な区画の農地を長方形に整形し、不規則に蛇行していた水路を直線的に改修した事業を何というか。（2011年 全国公立入試 類似）

1. 耕地整理 2. 構造改善 3. 土地改良 4. 圃場整備

答え合わせ・解説 No.8

問1	答え 3 プレーリー土	北アメリカの温帯草原（プレーリー）に分布する肥沃な黒色土はプレーリー土と呼ばれる。湿潤気流の影響を適度に受ける地域で、草類の枯死と分解によって厚い腐植層が形成された。この肥沃な土壌を基盤として、現在ではトウモロコシや大豆、小麦などの大規模な商業的農業が展開されている。
問2	答え 4 集積回路	高速道路網の整備が進んだ地域では、航空機やトラックを利用した迅速な輸送が可能となった。これにより、輸送費に占める割合が小さく、軽量で高付加価値な集積回路（IC）などの電子部品を製造するエレクトロニクス産業の工場が、東北自動車道沿い（シリコンロード）や九州（シリコンアイランド）などの内陸部に多く立地するようになった。
問3	答え 2 排他的経済水域	沿岸から200海里（約370km）の範囲に設定される排他的経済水域（EEZ）では、沿岸国に水産資源や鉱物資源の探査・開発などの経済的な権利が認められる。1970年代後半以降、世界各国がこの水域を設定したことで、他国の沿岸近くで操業していた日本の遠洋漁業は締め出され、漁獲量が激減した。
問4	答え 1 食料品・飲料	ブラジルは世界有数の農業・畜産大国であり、サトウキビやオレンジ、牛肉などの生産が盛んである。そのため、同国の製造業においては、これら農畜産物を加工する食料品・飲料工業の生産額割合が、機械類や繊維品の割合が高い中国やインド、石油製品の割合が高いロシアなどの他のBRICS諸国に比べて高くなっている。
問5	答え 3 大鑽井盆地	オーストラリア東部の内陸部に広がる大鑽井盆地（グレートアーテジアン盆地）では、掘り抜き井戸から自噴する被圧地下水が利用されている。この地下水は塩分を含んでいるため、灌漑農業には適さず、主に羊などの家畜の飲料水（牧畜用）として利用されている。
問6	答え 1 センターピボット灌漑	グレートプレーンズでは、地下にあるオガララ帯水層から地下水を汲み上げ、360度回転する大型スプリンクラーで散水する農法が広く導入されている。これにより、本来は降水量の少ない地域でもトウモロコシなどの大規模な栽培が可能となったが、地下水の過剰な汲み上げによる水位低下や枯渇が問題となっている。
問7	答え 3 チリ	南半球に位置するチリは、北半球の日本とは季節が逆になります。そのため、チリにおけるリンゴの収穫・輸出時期は5月から8月頃となり、台湾などの北半球の市場において、日本産リンゴの端境期（供給が途切れる時期）を補完する形で輸入されます。
問8	答え 1 フェーン現象	東北地方の太平洋側に吹き付ける冷たく湿った北東風（やませ）は、奥羽山脈を越える際に雨を降らせて水分を失い、西側の日本海側へ吹き下りる際には乾燥して温暖な風となる。このフェーン現象により、日本海側の地域では気温が比較的高く保たれ、冷害による水稲の収穫量減少が軽微に抑えられる。
問9	答え 4 高収量品種	農業技術革新（緑の革命）において中心的な役割を果たしたのが、国際稲研究所（IRRI）などで開発された「奇跡の米」などに代表される作物の種子である。これらは適切な水管理と多量の肥料・農薬の使用を前提として高い生産性を発揮するため、資金力のある農家や地域に普及が偏り、格差拡大をもたらした。
問10	答え 4 圃場整備	昭和中期以降、日本の多くの農村部で農業の近代化や機械化を進めるために実施された。この事業により、かつて自然に形成されたり不規則に掘られたりして蛇行していた水路は、農業機械の導入や排水効率の向上のために、直線的で規則正しい形態へと改修された。また、農地自体も大型機械が作業しやすいよう長方形の区画に整理された。